

# 全力出し切れ地元勢

## ぶんかスポ

第15号

# 開幕まで 白熱の 高校野球 カウントダウン

### 開幕まで

### 白熱の

### 高校野球

### 目標持って日々努力

### 日高

## 夏へ挑む 各校選手

(聖望、飯能南は2~3年生のみ)

### 飯能南

【3年】阿部海夏(飯能西)、阿部摩輝(朝霞第二)、石井日和(入間黒須)、磯本将司(狭山入間)、太田和希(入間武蔵)、岡野麗央(飯能加治)、川鍋勇也(飯能西)、倉本翔(飯能第一)、西條輝巳(新座第六)、清水陸(入間野田)、鈴木隆二(日高)、津山直樹(新座第六)、中村佑太郎(飯能第一)、町田泰洋(飯能第一)

### 聖望

【3年】寺本太誠(入間東金子)、有馬陸斗(八王子浅川)、出野慎也(玉ノ岡)、小沼稜(杉並富士見丘)、瀧澤俊幸(入間金子)、中村美優(青梅西)、石井孝宜(飯能第一)、枝松健太郎(飯能第一)、大木哲平(飯能第一)、大木哲平(飯能第一)、大木哲平(飯能第一)

### 飯能

【3年】佐々木柊人(飯能原市場)、長谷川直樹(入間武蔵)、平沼恭介(入間武蔵)、村田深拓(飯能吾野)、渡邊拓巳(飯能原市場)、石田裕介(所沢三ヶ島)、杉尾弥生(川越霞ヶ岡)、平沼知也(日高黒根)、村田朋也(入間東野)、吉川健人(飯能原市場)、高沢利雄(日高黒根)、重本高志(所沢)

### 日高

【3年】柳田陽平(所沢山口)、吉田一稀(川越霞ヶ岡)、西、滝澤隼人(入間野田)、西、大越丈太郎(川越城南)、野村将太(川越霞ヶ岡)、東、小島凌太(日高黒根)、坂上智美(日高黒根)、乙女竜一(川越飯井)、北条茂(さいたま土屋)、本橋優也(飯能原市場)



「悔いのない戦いを」と選手やマネージャー



野村主将

日高は正部員が1、2年6人のみ。これに野球経験を持つ3年を加えた11人で大会に挑む。例年以上に厳しい台所事情だが、選手たちは練習を通じて、目標に向かって努力することの大切さを学んでいる。昨年からは野村を指揮する沖晋之介監督は、「目標を持って一杯努力して欲しい。人数が少なくても、やれることはいくらでもある。日頃の練習に取り組み姿勢など、基本から指導を続けるうちに選手の意識も変わってきたという。



「とにかく1勝」。気合十分の選手たち

### 投打のバランス良好 全員野球で初戦突破 飯能南



西條主将

今年の飯能南は投打のバランスが取れ、個々のポテンシャルも高く勢いのあるチーム。春の大会では昨夏と同じく武蔵越生と対戦し、無念の初戦敗退。一緊張から自分たちの野球ができていなかったと振り返り、全員野球で勝利を狙う。



チームの要となる4番鈴木選手



「自分たちの野球を全力で」。2・3年メンバー

### 初志貫徹、一戦必勝 全てを夏に懸ける 聖望



枝松主将

春季大会3位で第2シードとなった聖望。エースは昨年に続きマウンドを守る3年の松本龍哉投手。女房役としてバッテリーを組む大野亮太選手は2年ながら4番を任ざれており、この双璧が攻守の要だ。夏の甲子園4回、選抜では準優勝と輝かしい戦績を持つが、ここ数年、県の決勝や準決勝にコマを進めるも、後二歩及ばず涙を吞んできた。枝松健太主将は先輩たちの存在はプレッシャーではなく、励み。栄光を取り戻したいと一戦必勝を誓う。



「昨年の悔しさをバネに」と2・3年メンバー



注目の2年主砲・大野選手



守備では五三の松本投手(右)とバッテリーを組む

### 少人数でも経験豊か 基本見直し総仕上げ 飯能



佐々木主将

飯能は3年5人、2年6人、1年2人の計13人。昨年は初戦で敗れたため、大会は「とにかく1勝」。大会までにどれだけ力を伸ばすことができるか、選手たちは日々練習に励んでいる。

同部は人数が少ないものの、入部当初から主力メンバーとして試合に出場するなど経験を積んだ選手が多く、また一人あたりのバッティングやソックの時間を多く確保できると前向きだ。初戦へ向け基本を見直し、走り込みやウエイトトレーニングで体力作りを強化。また、毎週末に練習試合を行い、そこで得た課題



「とにかく1勝」。気合十分の選手たち

25日付け、町田富男氏葬儀廣告住所を「飯能市双柳1284-1」とし、屋号「富士屋商店」を追加します。告別式は6月27日午前9時より広域飯能斎場にて執り行います。